

2026 年度一般選抜（コア試験・プラス試験）

出題ポイント

フランス語

【経済学部・文学部】

出題の意図

< 問題の特徴 >

フランス語の受験者は比較的少ないので、採点にじっくり時間をかけられる設問を出しています。つまり、暗記力だけで解答できる設問を意図的に避けるようにしています。

出題の構成は次のようになっています。

- I. 比較的長いフランス語の文の全体的な流れをつかんで、それを正確に日本語に訳す仏文和訳問題。
- II. フランス語の読解に欠かすことの出来ない基本的な語学知識を試す文法問題。
- III. フランス人が4回読み上げるフランス語の短文(2つ)を、正確に書き取るディクテーション(書き取り)の問題。
- IV. 直訳では意味の通じにくい日本語の短文(2つ)を、フランス語でどう表現するかを問う和文仏訳の問題。

ある程度の長さのフランス語を読んで全体の文意を把握し、いくつかの設問に答える長文読解問題。

受験者がフランス語にこれまでどのくらい親しんできて、どの程度フランス語を理解し、使うことができるかだけではなく、大学での勉学に必要な思考力、論理性、想像力、そして柔軟な感性を持っているか、確認するための問題を出題しています。

経済学部コア試験

解答又は解答例

(和訳と仏作文については一つの解答例です。)

- I. 彼は走って何歩か進んだが、左側の歩道でくると体の向きを変え、周囲をさっと見渡すと、どちらの方向に行こうか決めかねている人のように、成り行きを見守っているようだった。やがて意を決すると、両手をポケットに入れ、散歩をしている人がするような無頓着なそぶりで、大通りを進み続けた。

天候は穏やかで、心地よく爽やかな秋の日和だった。カフェはどこもいっぱいだった。そのうちの一軒のテラスに彼は腰を下ろした。生ビールを一杯と紙巻きたばこを一箱注文した。ビールをちびちびやりながら飲み干し、落ち着き払ってたばこを一本吸うと、二本目に火を付けた。それから立ち上がると、支配人を呼んでくれるよう給仕に頼んだ。支配人がやって来ると、アルセースは皆に聞こえるほど大きな声で相手に言った。「申し訳ないのだが、財布を忘れてしまってね。支払いを何日か待つと了承してもらえぬぐらいには、おそらく私の名前をよくご存じかと思う。アルセース・ルバンという名を。」

- II. 1) « Range ta chambre ! » m'a dit ma mère.
2) Les habitants du quartier ont proposé ces projets.
3) Nous avons diné dans le restaurant où travaille le père d'un ami.
4) Il en reste encore.
5) Il est normal que la température baisse, puisque nous sommes en plein hiver.
6) Leur oncle est l'homme qui gagne le plus d'argent au monde.
7) Les enfants doivent rester sages jusqu'à la fin du cours.
8) Non, je n'ai jamais mangé d'escargots.
9) Peux-tu me prêter ta brosse à cheveux ?
10) C'est la voiture que son père lui a achetée pour son anniversaire.
- III. 1) Combien de temps lui faudra-t-il pour préparer ses bagages ?
2) Si je ne me suis pas trompé dans mes calculs, elle devrait arriver dans deux heures.
- IV. 1) Plus vous parlez, moins je vous comprends.
2) Ma sœur aînée n'est jamais allée en France.
- V. 1) Gallus という単語は「ゴール人」とも「雄鶏」とも意味するのである。
2) Le coq n'a point de force, il ne peut être l'image d'un empire tel que la France
3) 国璽に現れる。
4) ウ
5) Lors des affrontements sportifs.

解答又は解答例

(和訳と仏作文については一つの解答例です。)

- I. うちの庭の裏手には林があり、緑と褐色の谷になっていた。両側の斜面は大きな「V」字型をしていて、谷の底には落葉が堆積していた。その谷底に、落葉で半ば埋もれかけたモニカの家があった。私はジルと一緒にモニカの家に足繁く通った。モニカは、谷が「V」字型に削られているのはドラゴンの爪の跡なのよ、と説明してくれた。ドラゴンが谷をうがったのは、悲しみのせいで頭がおかしくなってしまったからなの。もうずっと昔のことよ。モニカは物語がとても上手だった。彼女の長い灰色の髪がワンピースの花柄模様の上で躍っていた。そして彼女のブレスレットが手首のまわりで音を立てていた。
- その話はジルを怖がらせた。
- 夜になると時おりジルは私のベッドのなかに入ってきて、ちびこまっていた。ドラゴンの咆哮が聞こえたと思ひ込んでいたのだ。私は、それはただのお話で、本当はドラゴンなんていないのだとジルに説明してあげるのだった。モニカがそんな話をするのは、伝説が好きだからで、すべて本当のことではないのだと。
- II. 1) Cette faute d'orthographe ne sera remarquée par personne.
 2) On a caché les poupées avec lesquelles elle jouait tous les jours.
 3) Mon cœur n'en est pas las.
 4) Je n'ai même pas le temps de jouer avec mes chats.
 5) Il ne peut pas nous rejoindre parce qu'il est malade.
 6) Non, je n'en ai reçu aucune.
 7) Elle m'a demandé si j'étais en bonne forme.
 8) « Je n'ai jamais rencontré cet individu ! » affirme-t-elle.
 9) Je ne pense pas qu'elle ait forcément tort.
 10) Qu'est-ce que vous prendrez pour le dessert ?
- III. 1) En ce moment, mon chat dort toute la journée et je le vois seulement paraître au moment des repas.
 2) La dernière fois que je suis allé au restaurant, je suis tombé malade le lendemain.
- IV. 1) Prêtez-moi le livre dont vous m'avez parlé hier, s'il vous plaît.
 2) Que vous ne sachiez pas la vérité est une chose étrange.
- V. 1) Peintures et gravures.
 2) 近くにある城に隠された宝へ行かせる地下道であると考えた。
 3) Les chevaux.
 4) 描かれたものと刻み込まれたものの年齢を測った。
 5) イ

解答の際の留意点

採点は上に挙げたような観点を重視して行っていますが、まず、毎年のように見られる小さなミスについて指摘しておきます。Iの仏文和訳では、わからない部分を空白にしてみたり、あるいは1つの文に対して2つの訳の可能性を書いたりして、大きく減点される例が見られます。また、IIの文法問題では、「カッコ内の指示に従って全文を書き直し、解答欄に書きなさい」という全体の指示に従う必要がありますが、例えば解答の核となる1, 2語だけを書いたり、空欄に入れる前置詞や関係代名詞だけを書いたりして、全文を書き改めていない解答も見られます。こうしたことはちょっとした注意で避けることができるでしょう。

和文仏訳は、フランス語の語学力を測ると同時に、日本語力を判定する手段でもあります。ですから原文の意味がおおよそ把握できていても、訳が日本語として分かりにくい直訳はあまり望ましいものではありません。また逆に、原文を理解していないことを糊塗するような意識もしないようにしましょう。文の意味のすべてを汲み取った訳文を目指すように努力してほしいと思います。

ディクテーション(書き取り)の成績は年々よくなっています。多くの受験生は、フランス語の短い文を正確に聞き取れていて、小さな綴りの間違いを除けば、大体意味の通じる文章を書いています。日本人の耳に区別しにくい音素(l/r, an/un/in, eu/ouなど)は、まだ難しいようですが、多少練習を積みればできるようになるので、怖がるに足らない問題です。ただ、フランス語を読み上げるときは句読点を指示しないので、解答する場合には、それを適切に入れるのを忘れないようにしましょう。

また、特に和文仏訳で顕著なこととして、フランス語が思い出せないと、英語(か、それに似ているつもり言葉)を混ざる傾向が見受けられます。ヨーロッパの諸言語が互いに似通っているとは言っても、それはフランス語の入学試験の解答にふさわしいこととは思えませんので、注意してください。

学習へのアドバイス

本学の問題の出題傾向や出題意図からお分かりのとおり、学習にあたっては教科書や学校の授業が基本として欠かせませんが、とりわけ、本をたくさん読めば読むほどに母国語だけではなく、他の外国語も身に付けることが容易になりますので、「暗記」ばかりに頼る受験勉強よりも、小説や他の読書を楽しむほうが知的成長には重要と思われる。教科書や学校の授業から得られた知識を別の角度から組み替えて「理解」することができるとともに、大学での勉強へもスムーズに移行することができるからです。